



長野県寿台養護学校運営のグランドデザイン【2023】

～学びの力で未来を拓き、夢を実現する人づくり～(第三次長野県教育振興基本計画)

【めざす学校像】(長野県特別支援学校重点目標)

- 一人一人の子どもの可能性を最大限に伸ばす学校
- 地域や企業とつながり、インクルーシブな社会をリードする特別支援学校

【学校教育目標】
知恵をたがやし
心をゆさぶり
体をうごかす

【学校長の願い】

- ♥ はじめに子どもありきの教育
- ♣ 自己実現を支援する教育
- ◆ 将来その子が精一杯生きるために 今育てたい力が身につくように
- ♠ 高い特別支援教育の専門性

あいことば

まなび

「学たしか

こころ

心ゆたか

からだ

体げんき」

心ゆたか《あいさつ》 心力

- 人と関わりながら、生きる喜びを感じよう
- 豊かな感情と、それを表現できる力を伸ばそう
【はい・ありがとう・おはよう・いっしょに】

体げんき《体づくり》 体力

- いのちを大切にし、健康な心と体をつくろう
- 自ら動いたり、働いたりすることを楽しもう
【体力づくり・掃除・交通安全・現場実習】

学たしか《自分から自分で》 知力

- できる、わかる体験で「自ら学ぶ」喜びをもとう
- 学んだことをつなげ、表現する力をのばそう
【自立活動・各教科等・現場(校内)実習】

【運営の重点】

最重要重点

より
よい
授業

- (1)徹底した児童生徒理解<アセスメントを活かす/多面的理解/事例研究/応用行動分析>
- (2)合わせた指導のカリキュラム・マネジメント<願いの実現/児童生徒理解にたった授業・学校生活>
- (3)シラバスベースの指導計画<シラバスの活用・評価>

- (1)UD化①学びやすい環境づくり<ハード面整備>
②生活しやすい環境づくり<構造化/視覚的支援の徹底>
- (2)チーム支援<同僚性の発揮/サポートチーム支援/支援会議>
- (3)特別支援教育の専門性向上<授業研究/研修体系/外部専門家活用事業/全校・希望研修>
- (4)教職員の働き方改革推進<ノー会議デイ/クラウド活用/校務支援システム/職員会運営の工夫>

1 教育課程の編制 (何を学ぶか)

子ども

3 学習環境の充実 (どこで学ぶか)

2 教育課程の実施 (どのように学ぶか)

- (1)子どもの願いの実現
- (2)アセスメントを活かした授業づくり<題材・活動・教材化、支援、学習集団・単位の工夫>
- (3)個別の指導計画を活かす<指導・支援のPDCAサイクル>
- (4)学習(内容・方法)の個別最適化と授業の集団化<ICT活用推進/集団づくり>
- (5)コミュニケーション支援<自発コミュニケーション力の育成・尊重/ツール活用>

望ましい行動育成(PBS)

4 保護者・地域との連携 (開かれた学校づくり)

- (1)開かれた教育課程<PTA活動の工夫/丁寧な情報提供と対話/学校公開/同窓会>
- (2)特別支援学校センター的機能の発揮<特別支援教育の専門家としての自覚と責任/交流(校内、副学籍、地域校)/教育相談/支援会議>
- (3)医療・福祉・地域との連携<専門家指導/相談/支援会議>
- (4)社会とのシームレスな関係づくり<学びの連続性/校外学習・校外販売/就学・就労/福祉/養体連・特文連>